

土壌診断のススメ

あなたの畑は健康ですか？ 土壌診断で収量と品質アップ！

畑が健康でなければ、健全な作物は育ちません。土の状態や肥料成分のバランスが悪くと、生育不良を引き起こし、ひどい場合には生理障害につながります。また、病害虫の発生を助長する原因にもなり、結果として満足いく収穫量や品質を確保することが難しくなります。

農産物づくりの基本は「土づくり」から。土壌診断は土づくりの第一歩です。土壌診断を受けたことのない方や生育に満足できていない方は、ぜひ「畑の健康診断」を受けましょう。

今回は、なぜ土壌診断が必要なのかを、トマトの事例を通してご紹介します。



JA山武郡管内のトマトハウスにおける土壌中の石灰(カルシウム)含有量は、分析点数の約75%で基準値から外れています(図①参照)。

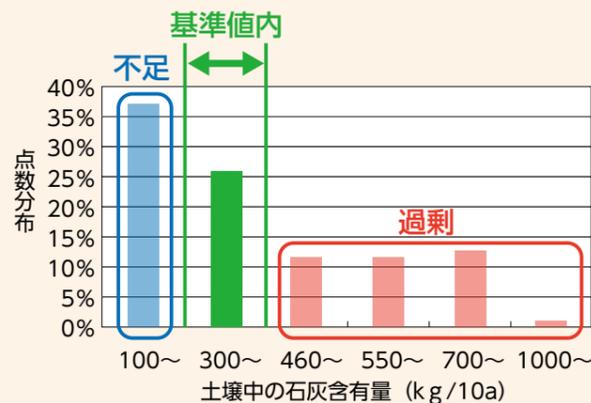
トマト栽培では、石灰が不足すると尻腐れ果(右写真)が発生しやすくなり、収量低下につながるため、基準値内に入るように石灰を施用する必要があります。

しかし、施用する量は多ければ良いというものではありません。石灰が過剰にある場合は加里(カリウム)など他の養分の吸収が抑制され、逆に、石灰が十分にあって他の養分が過剰にある場合には、石灰の吸収が抑制されて障害が起こることもあります(図②参照)。

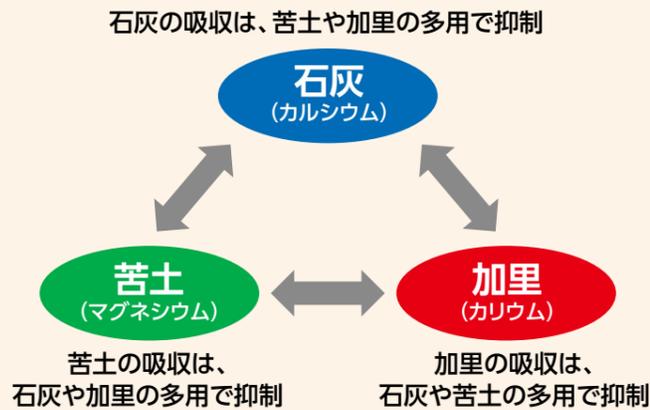
肥料を与える際には、施用量だけでなく、養分のバランスも重要ですが、土壌中の養分の量を目で見ることはできません。それを「見える化」するのが、土壌診断です。作付け前に土壌診断を受け、養分の量やバランスを確認しましょう。



トマト尻腐れ果



図① 石灰含有量別の点数分布 (2023年の土壌分析結果より)



図② 石灰、苦土、加里の拮抗作用

(出典：新版 土壌診断と作物生産改善 改定版)



当JAでは土壌診断の受付を行っていますので、ぜひご利用ください！
(土を提出いただいてから結果のお渡しまで、1カ月程度かかります。)
詳しくは、お近くの営農・経済センターまでお問い合わせください。

農作業

テクニカルダイアリー



イチゴ

やさいの里営農センター 営農指導員 川島 俊一

8月の管理について

昨年・一昨年は、夏場の高温により、育苗管理が非常に困難となりました。さらに、定植後には病気や生理障害が発生し、出荷量にも影響を及ぼしました。

定植直後から、根量を増やすような管理をします。発根促進剤を元肥に入れたり、液肥に混ぜて全体に届くようにします。(資材例：ネバリン「写真①」・新チャンス液炎天マスター)
また、定植後1週間程度は株元へ1日数回のこまめな灌水を行い、発根を促して活着させます。

定植後のハウス内の温度は、換気や遮光資材等を用いて30℃以下になるようにしましょう。



写真① ネバリン

(日本肥種株式会社ホームページより引用)

ハダニ対策

高濃度炭酸ガス処理や、農薬のローテーション・散布で徹底的に防除を行い、天敵導入時にハダニがいない状態を作ることが重要です。

定植前はモベントフロアブルを天敵導入45日前までに使用し、定植後はトランスフロアムフロアブルを天敵導入15日前までに使用してください。この他にピタイチ、ダニサラバフロアブル等も使用し、ハダニのいない状態を作りましょう。

天敵の使用について

①スパイカルEX、②スパイデックス、③ミヤコバンカー、④スパイカルプラスなどがあります。③④については袋の中に天敵と餌が入っており、長時間放出される資材です。時間はかかりますが、継続的効果があるため、導入時の防除さえしっかりしていれば、長期間安定してハダニを抑えることが可能です。設置してから外に出るまで時間がかかるため、

うどんこ病対策

近年、天敵導入により農薬散布の回数も減ったことで、問題になることも多くなっています。発病し、白い粉が見えたときには抑えることが難しくなるので、定期的な農薬のローテーション散布で発生を未然に防ぎ必要があります(表参照)。うどんこ病は乾燥時に発病することが多いですが、実際の感染は湿度が高くなつたときに起こるため、多湿が予想されるときに予防剤を散布することがポイントです。

また、気門封鎖剤(ピタイチ、サフォイル、エコーピタ等)も予防効果が期待できるので、併せて散布するとよいでしょう。

営農なんでも相談室

皆さまの営農に関するお悩みを、JAの総合事業の力で解決！栽培管理、コスト削減、規模拡大、求人・雇用のことなど、お気軽にご相談ください。

JA山武郡市 営農なんでも相談室
(本所 営農部内)

☎0120-972-860

表① イチゴのうどんこ病に登録のある薬剤

作用特性	薬剤名	希釈倍率	使用回数
予防	ベルコート水和剤	4000倍	5回以内
	フルピカフロアブル	2000～3000倍	3回以内
	アフエットフロアブル	2000倍	3回以内
治療	ショウチノスケフロアブル	2000倍	2回以内
	ラミック顆粒水和剤	1000倍	2回以内
	トリフミン水和剤	3000～5000倍	5回以内